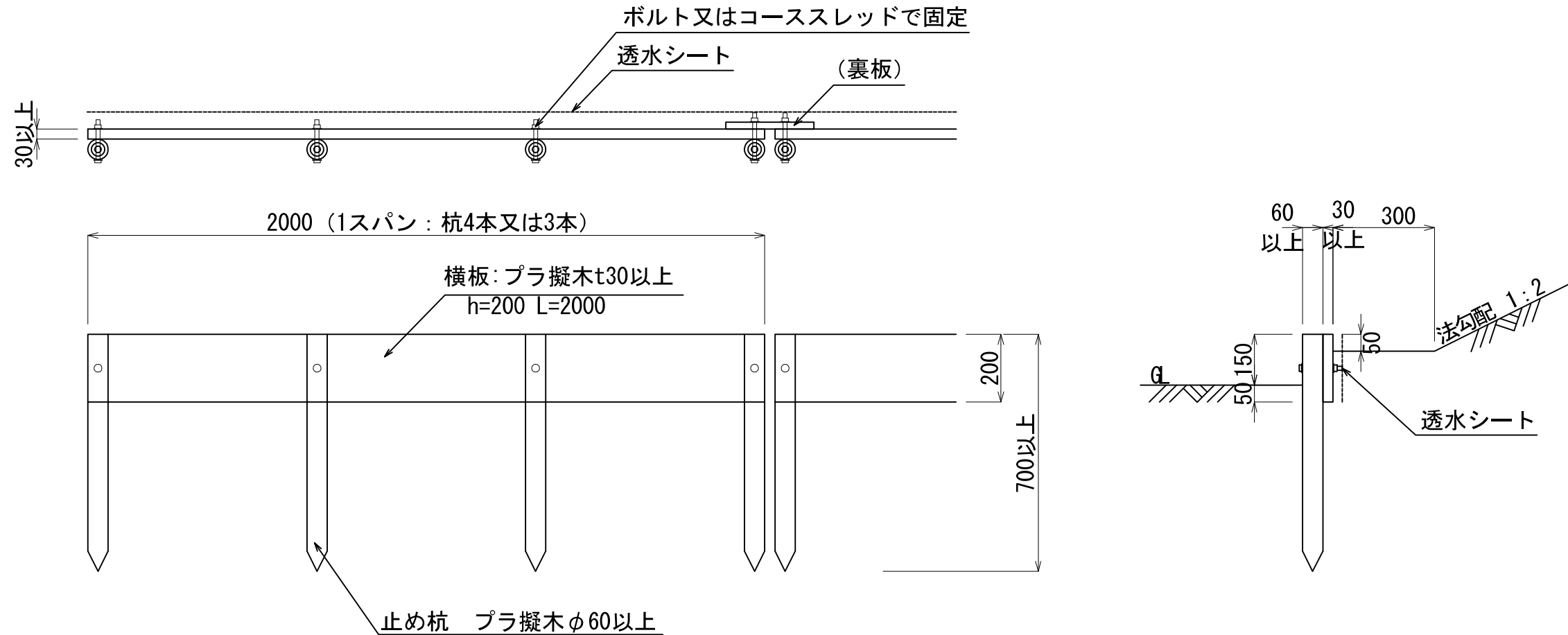


1 基盤

【擬木土留】

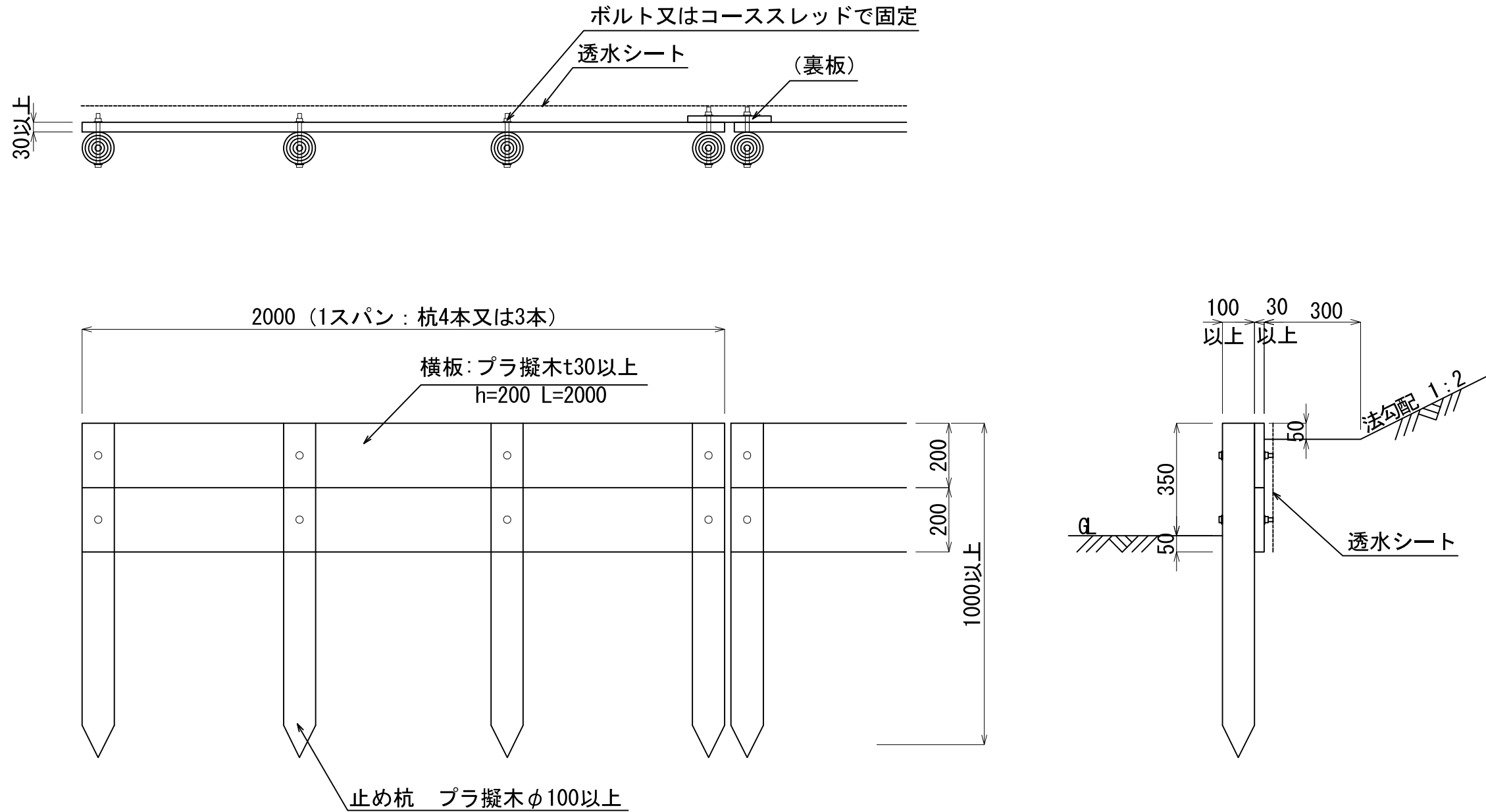


- ・土質条件: $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$ $\phi=25.0^\circ$ $c=0\text{kN/m}^2$ (参考N値 10)
(ロームの地山を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック(エコマーク認定品)とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

特記

- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
- ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
- ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
- ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
- ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
- ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板(裏板)の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板(裏板)の有無については問わない。
- ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
- ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

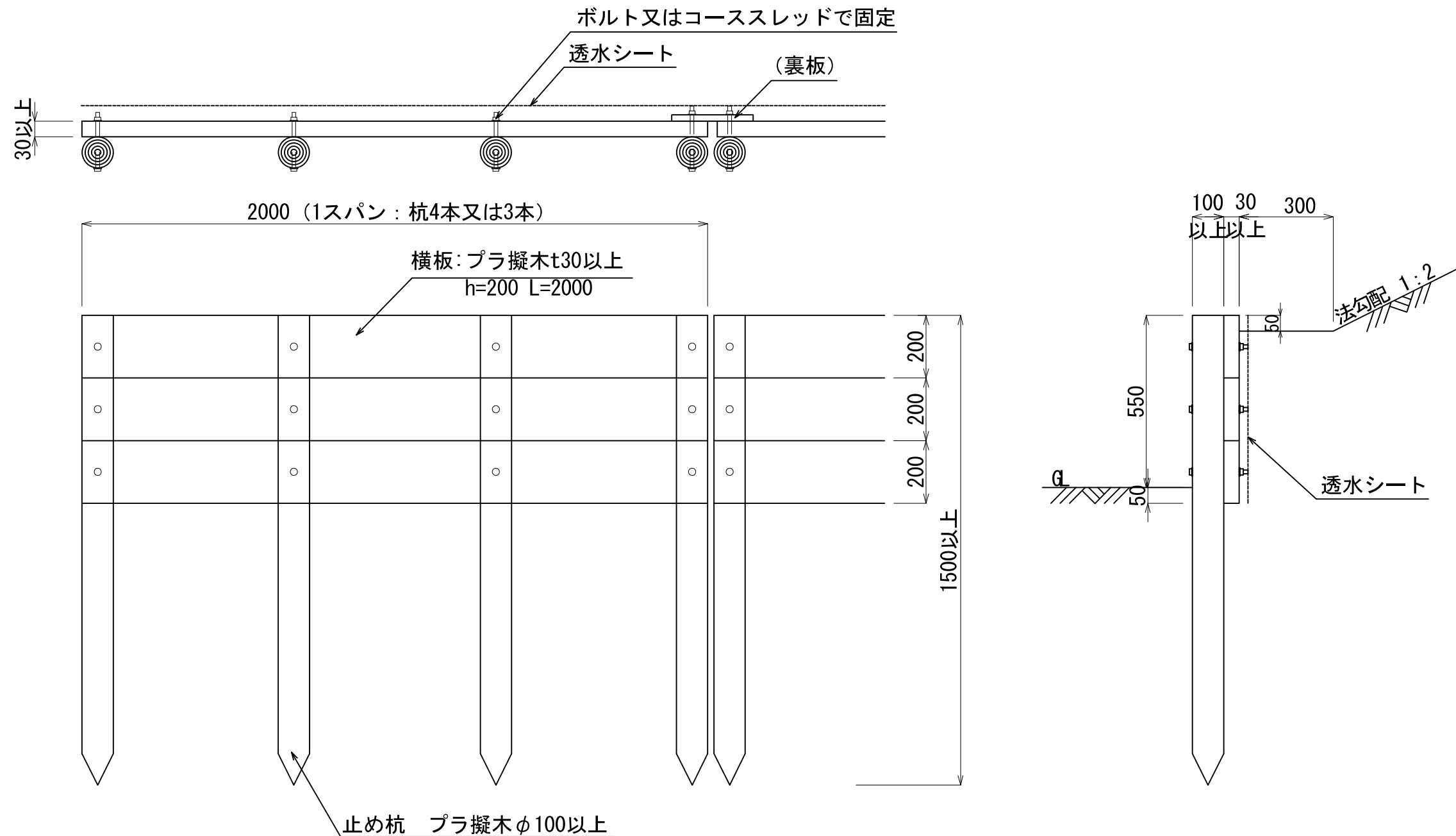
工事名			
工事場所			
図面名	擬木土留(1段)		
縮尺	S=1:15	図面番号	
さいたま市都市局都市計画部都市公園課			



- ・土質条件: $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$ $\phi=25.0^\circ$ $c=0\text{kN/m}^2$ (参考N値 10) (ロームの地山を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック (エコマーク認定品) とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

- 特記
- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
 - ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
 - ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
 - ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
 - ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
 - ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板 (裏板) の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板 (裏板) の有無については問わない。
 - ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
 - ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

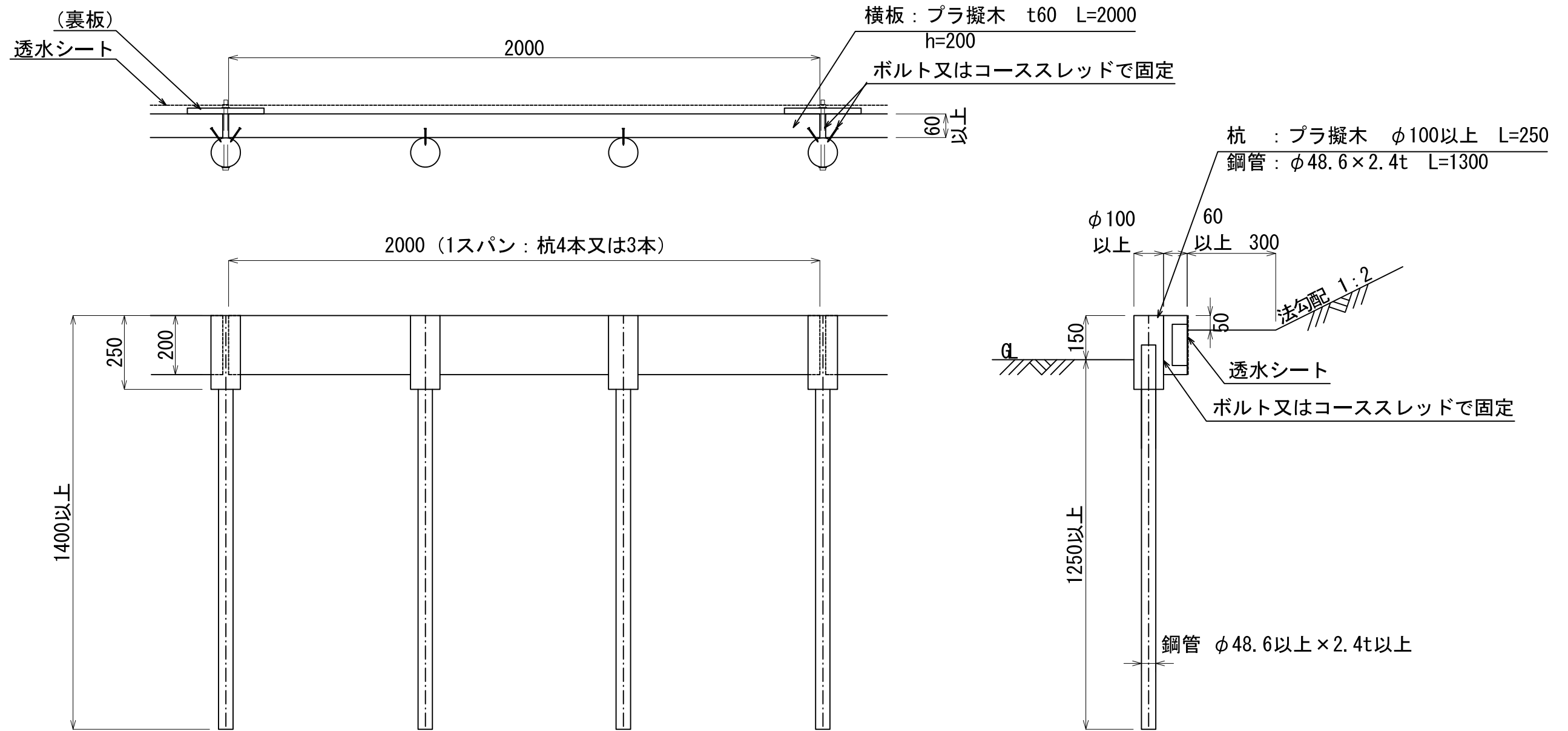
工事名			
工事場所			
図面名	擬木土留 (2段)		
縮尺	S=1:15	図面番号	
さいたま市都市局都市計画部都市公園課			



- ・土質条件: $\gamma=18.0\text{kN/m}^3$ $\phi=25.0^\circ$ $c=0\text{kN/m}^2$ (参考N値 10) (ロームの地山を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック (エコマーク認定品) とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

- 特記
- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
 - ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
 - ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
 - ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
 - ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
 - ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板 (裏板) の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板 (裏板) の有無については問わない。
 - ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
 - ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

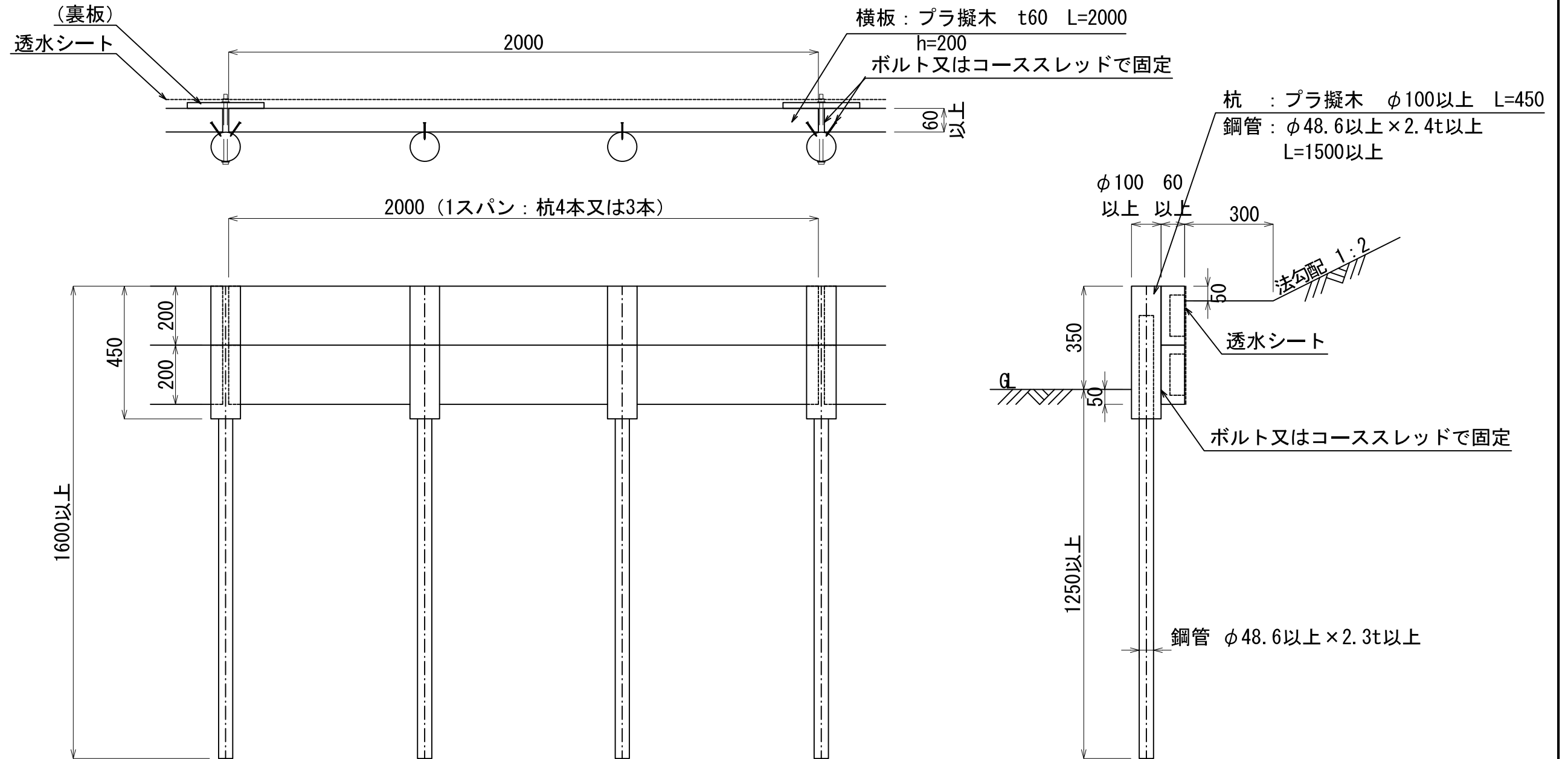
工事名			
工事場所			
図面名	擬木土留 (3段)		
縮尺	S=1:15	図面番号	
さいたま市都市局都市計画部都市公園課			



- ・土質条件: $\gamma=14.0\text{kN/m}^3$ $\phi=19.0^\circ$ $c=0\text{kN/m}^2$ (参考N値 5)
(ロームの盛土を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック(エコマーク認定品)とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

- 特記
- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
 - ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
 - ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
 - ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
 - ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
 - ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板(裏板)の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板(裏板)の有無については問わない。
 - ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
 - ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

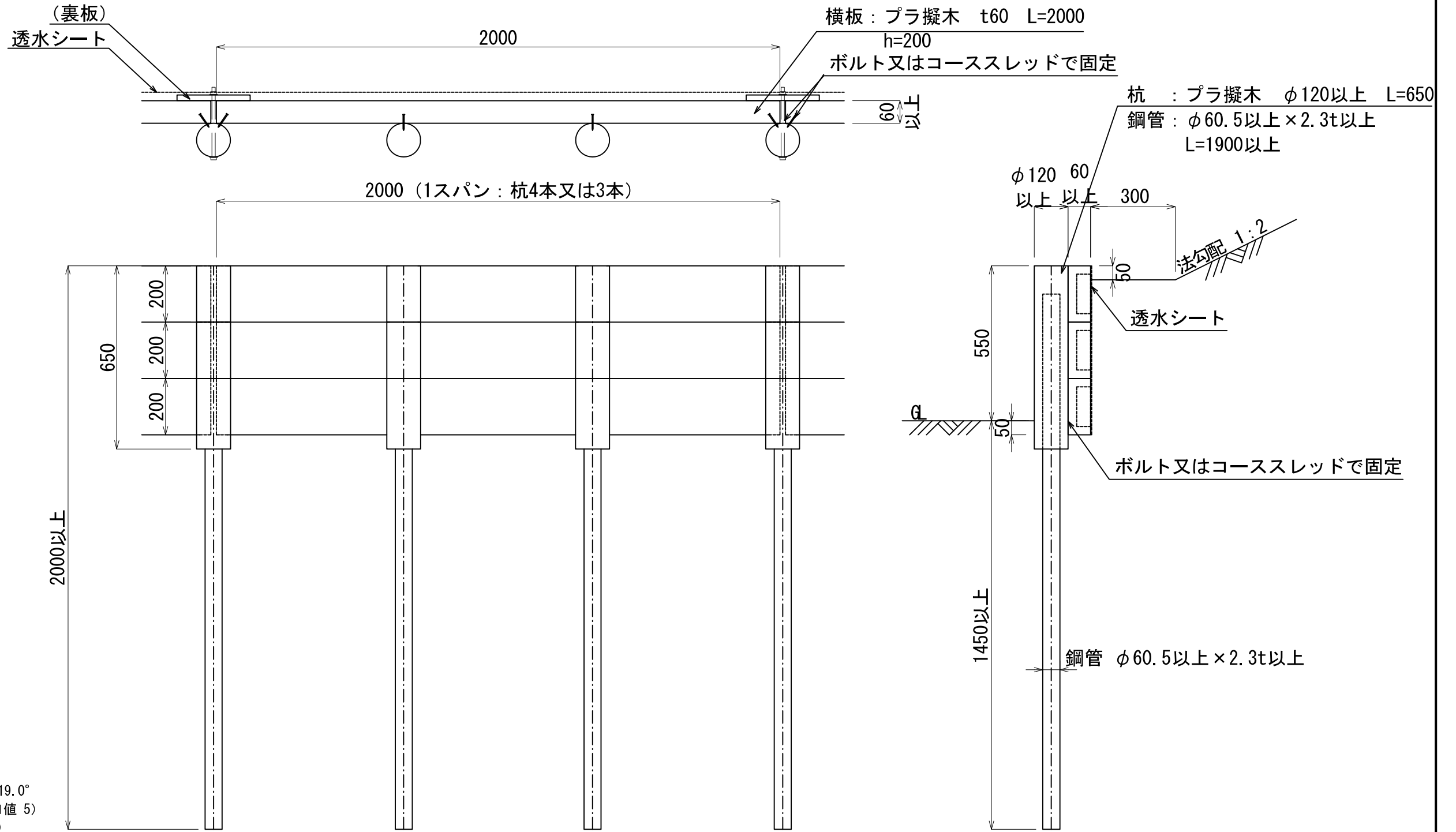
工事名			
工事場所			
図面名	擬木土留(参考:1段)		
縮尺	S=1:15	図面番号	
さいたま市都市局都市計画部都市公園課			



- ・土質条件: $\gamma=14.0\text{kN/m}^3$ $\phi=19.0^\circ$ $c=0\text{kN/m}^2$ (参考N値 5)
(ロームの盛土を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック (エコマーク認定品) とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

- 特記**
- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
 - ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
 - ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
 - ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
 - ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
 - ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板 (裏板) の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板 (裏板) の有無については問わない。
 - ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
 - ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

工事名	
工事場所	
図面名	擬木土留 (参考: 2段)
縮尺	S=1:15 図面番号
さいたま市都市局都市計画部都市公園課	



- ・土質条件： $\gamma = 14.0 \text{ kN/m}^3$ $\phi = 19.0^\circ$
 $c = 0 \text{ kN/m}^2$ (参考N値 5)
 (ロームの盛土を想定)
- ・プラ擬木部はリサイクルプラスチック (エコマーク認定品) とする。
- ・本製品は、損害賠償責任保険に加入しているものとする。

- 特記
- ① 擬木土留めは上記図面同等品以上とする。
 - ② 土留背面の土質は粘性土を想定して上記の土質条件以上とするが、施工前に土質試験等を実施し、土質の確認を行うこと。
 - ③ 背面形状は、土留めの上端5cm下がったところから1:1.5の法勾配を想定した時の構造である。
 - ④ 土砂流出防止のため、5cm根入れを標準とする。また、透水シートを土留め板背面に設置すること。
 - ⑤ 土留めの構造は、法面の構造が担保できる構造とすること。
 - ⑥ 杭の位置及び本数については、つなぎ板 (裏板) の有無や設置間隔によって変わるため、現場の状況に応じて監督員と協議して決定すること。つなぎ板 (裏板) の有無については問わない。
 - ⑦ 擬木色調、模様については監督員と協議して決定すること。
 - ⑧ 確定寸法、細部形状、仕様等を承認図として提出すること。

工事名	
工事場所	
図面名	擬木土留 (参考：3段)
縮尺	S=1:15 図面番号
さいたま市都市局都市計画部都市公園課	